

令和5年度 学校評価計画書 (目標設定・実施結果)

| 視 点 | 4年間の目標 (令和2年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | | 校内評価 | | 学校関係者評価 (月 日実施) | 総合評価 (月 日実施) | |
|---|--|--|--|---|------|----------|--------------------|--------------|-------|
| | | | 具体的な方策 | 評価の観点 | 達成状況 | 課題・改善方策等 | | 成果と課題 | 改善方策等 |
| 1 教育 課程 学習 指導 | ○新学習指導要領に基づいてカリキュラムマネジメントを進めることで自立と社会参加を目指す。 ○外部講師の活用や実践報告によって、開かれた教育課程の実施を目指す。 | ①新学習指導要領を踏まえ教科横断的な視点で教育課程を編成し、授業実践に取り組む。 ②食育の推進、安全な医療的ケアの実施と医療的ケア時の通学支援の充実の工夫を通し、健やかな体を育む教育の推進を図る。 ③ICT機器を活用した、コミュニケーション支援や学習支援、情報モラル教育を推進する。 ④外部講師を活用することで、地域や社会とのつながりを意識した授業づくりを実施する。 | ①「単元配列表」を作成し、年間指導計画の全体像の「見える化」を進める。学校教育目標から年間指導計画・個別教育計画が一本の縦軸でつながるよう改善を進める。 ②食育の年間指導計画と各教科の年間計画をつなげ、食事や体づくりの学びを深める。安全な医療的ケアの実施に向け、小委員会を活用し校内での一層の連携・協働を図る。 ③ICT機器の活用についての研修会を引き続き開催し、情報活用能力の育成についての実践例・好事例について共有する。 ④地域資源の活用や近隣校とのつながりを生かした授業実践を継続し、地域や社会とのつながりを意識した授業づくりを発展させる。 | ①年間指導計画の見える化を進め、学校教育目標から個別教育計画までをつなげた改善ができたか。 ②食育の授業実践や安全な医療的ケアの実施を行い、健やかな体を育む教育の推進ができたか。 ③ICT機器を利用した学習支援・情報モラル教育の推進について、アンケート結果に具体的な数値としてあらわれたか。 ④地域や社会とのつながりを意識した授業づくりを行えたか。 | | | | | |
| 2 (幼 児・ 児 童・ 生徒 指 導・ 支援 | ○児童生徒一人ひとりの特性や教育的ニーズを適切に把握し、的確な教育実践につなげる。 | ①児童生徒の実態の背景や教育的ニーズの把握に向け専門職等と連携・協働してアセスメントを実施するとともに、個別教育計画作成や相談機能の充実を図る。 ②チームで協働し、多面的な視点から児童生徒の達成感や自己肯定感を育む教育活動を実践する。 | ①専門職と連携しアセスメント結果を活かした個別教育計画の作成・評価、授業改善につなげる仕組みづくり、校内の教育相談における機能的な実施の仕組みづくりを行う。 ②日常的・発展的な授業改善を推進するため「輝く日」を設定し、学部・学年を超えた様々な教員のチームで授業づくりを行う。 | ①実態の背景や教育的ニーズにつなげるアセスメントを実施し、個別教育計画作成や相談機能の充実の仕組みを作ることができたか。 ②チームで協働した教育実践の積み重ねにより児童生徒の達成感や自己肯定感が向上したか。 | | | | | |

| | 視 点 | 4年間の目標 (令和2年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | | 校内評価 | | 学校関係者評価 (月 日実施) | 総合評価(月 日実施) | |
|---|----------------------|---|--|---|---|------|----------|--------------------|-------------|-------|
| | | | | 具体的な方策 | 評価の観点 | 達成状況 | 課題・改善方策等 | | 成果と課題 | 改善方策等 |
| 3 | 進路 指導・ 支援 | ○一人ひとりの社会的自立や生活の充実をめざし、主体的な進路選択や個に応じた進路実現を支援する。 | ①学部に応じたキャリア発達の目指す姿をおさえ、より豊かな生活について児童生徒の個に応じた気付きや学びを育てる。 ②進路選択や自己実現に必要な情報提供の機会を増やす。 | ①学部に応じたキャリア発達の目指す児童生徒像に応じて個々に伸ばしたい力、付けたい力を共有し、個に応じた進路指導につなげるとともに、意思決定力の育成を図る。 ②小中学部の保護者、教職員への情報提供の方法や説明会の開催の充実を図る。また移行支援について地域との計画的な協働を行う。 | ①学部に応じたキャリア発達の目指す児童生徒像、個々の伸ばしたい力の共有を基に個に応じた進路指導につなげることができたか。 ②学校評価保護者・教員アンケート結果に、情報提供の充実が数値としてあらわれたか。 | | | | | |
| 4 | 地域 等と の協 働 | ○地域との連携を図り、地域資源を活用した教育活動を推進するとともに、地域貢献する。 ○地域における相談支援センターとしての機能の充実を図り、インクルーシブ教育を進める。 | ①安全安心な感染症対策を講じ、地域の方々と交流及び共同学習を行う機会を作る。 ②学校全体で「センタースタッフ機能」の充実を図り、研修会や巡回相談等を通し、地域ぐるみのインクルーシブ教育の推進を図る。 | ①引き続き感染症対策を講じながら、近隣校との交流をはじめ、可能な限り様々な人との関わりや場面の経験ができるよう交流する機会の設定を増やす。 ②HPやTeams、職員会議等で校内外の支援について周知する。巡回相談同行を継続し学校全体でのセンタースタッフ機能の充実を図る。 | ①地域の方々と交流する機会を前年度より増やすことができたか。 ②巡回相談同行後や研修後のアンケート結果に、インクルーシブ教育推進に向けた意識の向上が数値にあらわれたか。 | | | | | |
| 5 | 学校 管理 学校 運営 | ○安全で安心な教育環境整備、指導体制整備を進める。 ○生徒と向き合う時間や教材研究の時間を確保するために、組織的な学校運営と校務の効率化を図る。 | ①安全で安心な活動ができるよう、教室などの教育環境を整備する。 ②防災体制整備計画について地域との連携体制の充実を図る。 ③業務のスリム化や会議方法を工夫し教員の働き方改革を推進する。 ④不祥事防止や事故防止のための情報共有を進め、意識を高める。 | ①優先箇所を検討しながら、修理修繕に努める。 ②地域の防災組織からの助言を受け、より組織的な防災組織を構築する。また自治体との合同訓練検討を行う。 ③業務・会議内容の精選、時間設定・事前共有の工夫を行い、目指す児童生徒像の育成につながる働き方改革を推進する。 ④不祥事防止研修を継続し、事故防止についての全体への共有方法を組みをつくる。 | ①安全安心な教育環境整備を進めることができたか。 ②地域と連携し防災体制の見直しを進めることができたか。 ③時間内での会議終了や情報共有の工夫が効率的な働き方につながったか。 ④不祥事・事故防止の情報共有を進め、意識を高められたか。 | | | | | |